

互助会を側面的支援

水俣病対策市民会議

水俣病対策市民会議（日吉フミ子会長）は、十二日午後一時から水俣市教育会館でとし初めての総会を開き、難航する水俣病補償交渉を側面的に支援することを決めた。

総会には会員約八十人が出席、昨年一年間の経過報告のあと、補償交渉について協議したが、昨年

水俣病の公害認定を勝ち取ったものの、その後の患者家庭互助会とチツソとの補償交渉が難航しているため、患者家庭互助会を側面から支援することを決めた。近くチツソと政府に対し、早く補償交渉を妥結するよう決議文を出すことになった。